

科目名称：	医療保険演習	
担当者名：	石堂みゆき	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
医療事務について学修した内容を復習しながら、集大成の学修として位置付け、診療報酬明細書の点検が正確かつスピーディに行なえる知識を身に付けます。また、時間計測しながら練習問題を繰り返しこなし、的確に処理出来る技能者として、技能審査試験に合格できるレベルに到達出来るよう学修を進めます。		
授業の達成目標・到達目標		
医療事務技能審査試験合格率100%になる様に創意工夫しながら、学生が興味を持って自ら学修する意欲を引き出せるような演習にします。診療報酬明細書の点検ができるようになることを目標とします。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	70			30	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 医療事務点検業務・受付	《経験年数1》 12年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 【点検1】 注射料、投薬料、医学管理料、在宅医療料、画像診断料の算定方法復習、点検の復習実施。	基礎ドリルの明細書点検を復習すること	10分
第2回 【点検1】 注射料、投薬料、医学管理料、在宅医療料、画像診断料の算定方法復習、点検の復習実施。	基礎ドリルの明細書点検を復習すること	10分
第3回 【点検1】 注射料、投薬料、医学管理料、在宅医療料、画像診断料の算定方法復習、点検の復習実施。	テキスト4のカルテ症例の復習をすること	10分
第4回 【点検2】 今まで学習した内容についてグループワークを行う。	テキスト4のカルテ症例の復習をすること	10分
第5回 【点検2】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	テキスト4のカルテ症例の復習をすること	10分
第6回 【点検2】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科問題をすること	10分
第7回 【点検3】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のAの実技問題をすること	10分
第8回 【点検3】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のBの学科問題をすること	10分
第9回 【点検3】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のBの実技問題をすること	10分
第10回 【点検4】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のCの学科問題をすること	10分
第11回 【点検4】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のCの実技問題をすること	10分
第12回 【点検4】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のDの学科問題をすること	10分
第13回 【点検5】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のDの実技問題をすること	10分
第14回 【点検5】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のEの学科問題をすること	10分
第15回 【点検5】 今まで学習した内容を復習しながら、明細書の作成・点検を行なう。	受験対策問題集のEの実技問題をすること	10分
<p>事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、テキストの復習・基礎ドリル・受験対策問題集を行い授業の内容理解をしていくことになる。</p>		
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業への貢献、授業への積極的関与 30%、出席を前提とし、欠席は授業への積極的関与がないものと判断する。</p>		
<p>課題に対するフィードバック</p> <p>授業中使用プリントは評価し返却する。基礎ドリル・受験対策問題集は復習状況の確認後返却する。</p>		
<p>教科書・参考書</p> <p>教科書：テキスト1～4、スタディブック、ハンドブック、マイベストノート、医科診療報酬点数表、点数早見表          著者：(株)ニチイ学館 出版：(株)東京丸の内出版 発行月：平成30年5月（医科診療報酬点数表は出版：(株)社会保険研究所）          参考書：問題集（基礎ドリル、受験対策問題集、技能審査問題集【実技I対応】）</p>		